

Let'sケア会議！

第13号

2026年2月発行
発行：鶴川圏域地域ケア推進会議

2025年度 鶴川圏域合同地域ケア推進会議が開催されました。(2025年11月28日(金) 19:00~21:00)

テーマ『鶴川圏域に住んでいる高齢者の在宅避難について考える』 ～大地震発生を想定し、要支援者がどんな準備をするべきか～

昨年度は避難所開設訓練に実際に参加しましたが、避難所が高齢者や身体が不自由な方にとって、過ごしやすい環境とは必ずしも言えないということが明らかになりました。そして災害発生時には、状況により在宅避難の検討も必要、との見解に達しました。そこで今年度の鶴川圏域地域ケア推進会議では、鶴川地区によくあるケースをいくつか想定し、在宅避難をした場合の事前準備チェックリストの作成と活用方法についてグループで話し合いました。

2023年度～地域ケア推進会議の経過説明

2023年度は最初の取り組みとして、災害時の医療体制の情報共有やBCPの理解、災害時の連携体制について検討しました。2024年度は鶴川消防署から災害時の基本的な考え方を聞き、個別避難計画についての理解を深めました。また地域の避難訓練や避難所開設訓に参加する事により、新たな視点と地域の取り組みについて知る事が出来ました。それらを踏まえて、今年度は在宅避難への検討を行っていくことになりました。



鶴川第2高齢者支援センター 藤井氏

グループワークからの意見

『基本的に必要なもの』

- ・お薬手帳、血圧手帳
- ・緊急連絡先
- ・使い捨てカイロ
- ・在宅避難をしている事が外部に分かるような物
- ・補聴器
- ・笛（ホイッスル）
- ・靴、上履き
- ・大き目のカバン（両手が空くもの）等



『活用方法』

- ・サービス担当者会議で情報を共有する。
- ・本人宅に貼っておく（訪問時に誰でも確認ができる）
- ・地域のコミュニティ（自治会等）で伝える。
- ・プラン見直し、更新時期に確認する。
- ・家族にもかかわってもらいチェックする。
- ・ポスターを張る等。

鶴川地区版 在宅避難に	
司会：	
利用者の人物像（特性）	
※鶴川圏域の地域課題	
基本項目	特性に合わせた
貴重品	<input type="checkbox"/> 保険証
	<input type="checkbox"/> 現金
	<input type="checkbox"/> マイナンバーカード
情報	<input type="checkbox"/> ラジオ
	<input type="checkbox"/> 携帯電話
	<input type="checkbox"/> 筆記用具
食品	<input type="checkbox"/> 水
	<input type="checkbox"/> 食料3日分
	<input type="checkbox"/> 嗜好品
	<input type="checkbox"/> バック食品
薬	<input type="checkbox"/> 常備薬
	<input type="checkbox"/> カットパン
	<input type="checkbox"/> 消毒薬
衛生用品	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ
	<input type="checkbox"/> 入れ歯洗浄剤
	<input type="checkbox"/> ティッシュ
	<input type="checkbox"/> オムツ・紙パンツ
	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ
	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ
ライフライン	<input type="checkbox"/> 懐中電灯
	<input type="checkbox"/> 電池
	<input type="checkbox"/> バッテリー
	<input type="checkbox"/> ランタン
	<input type="checkbox"/> カセットコンロ
その他	<input type="checkbox"/> 防寒着
	<input type="checkbox"/> 下着
	<input type="checkbox"/> 靴下(替用)
	<input type="checkbox"/> ビニール袋
	<input type="checkbox"/> ヘルメット

『認知症を想定して』

- ①必要と思われる事
 - ・備蓄品の置き場所の共有（様子によっては触られない場所等）
 - ・本人の情報をまとめたもの（お薬手帳等）
 - ・持ち物に名前を記入する等。
- ②必要と思われるもの
 - ・時計
 - ・親しんだぬいぐるみ
 - ・食べ慣れた食品
 - ・身元が分かるもの等

『糖尿病を想定して』

- ①必要と思われる事
 - ・お薬手帳や貴重品はひとまとめにしておく等。
- ②必要と思われるもの
 - ・ブドウ糖
 - ・血糖測定器
 - ・インスリンを入れる保冷バッグ等

参加者内訳

	オンライン参加	会場参加
事務局		9
薬局	23	1
居宅	21	7
訪問介護	4	
訪問看護	1	1
通所介護	3	
医療・栄養士	1	
グループホーム	1	
サ高住	1	
町田市役所	5	
病院		1
地域支援団体		2
社会福祉協議会	1	2
支援センター		3
福祉用具貸与事業所		2
有料老人ホーム等施設		1
町内会		1
生活支援コーディネーター		1
合計	60	31

今回、第二清風園会場31名、オンラインで60名、計91名の方に参加いただきました。会場では3グループ、オンラインでは8グループに分かれて良くある高齢者の状況を想定し、在宅避難に向けたチェックリストの作成と活用方法の検討をしました。参加者の専門性を生かし、多くの視点から活発な意見交換ができました。グループ発表でも積極的に意見を述べられる等チェックリスト作成の多きなヒントとなりました。

今後の取り組み

- ・今回のグループワークでの意見をまとめ、チェックリスト（案）を作成します。
- ・来年度は今回提案されたチェックリスト（案）を実際に活用し、修正を加え、より使用しやすいようにブラッシュアップしていきます。

感想

金井町内会 会長 大石 正幸氏



チェックリストは、早急に金井町内会としては欲しいです。こういうものがあると、見守り隊の活動の中でも防災の意識を高めることもできるでしょうし、また、何を揃えたらいいかというのは普段はなかなかわからないのが現状だと思うので、こういうものがあれば非常に助かると思います。町内会の会員の方にも全戸配布したいと考えており、頂きたいなと思っています。金井町内会はできるだけご協力したいと考えており、町内会としても、皆さんにお世話になると思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

鶴川地区社会福祉協議会 事務局長 陶山 慎治氏



ハザードマップを見て頂いて、それに巻き込まれる可能性が著しく低い方に関しては、在宅避難を普段から支援しています。そのためのツールをみんなで考えていこうということが非常にいいなと思っています。今回チェックリストに関して、あれをベースに皆さんでブラッシュアップして、とにかく作って頂いて、「あなた様」にとってのチェックリスト、さらに必要な物を加えられるといいのかなということと、地区社協としても提案したいのが、在宅避難を選択した「あなた様」の情報、あなたがここで仮に一人で避難しているという情報を、鶴川地区社協の皆さんと共有していいですか？という、同意書を貰ってくるということを皆さんと考え始めたいなと思っています。鶴川地区社協としても、多くのメンバーを集めて、できることをしっかりやっていきたいという風に思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

町田市地域福祉部福祉総務課 狗飼 匠氏



個別避難計画の作成を始めており、今年度から市内全域に対象を広げ、比較的介護度や障害の等級が重度の方や災害時被害想定の高い地区を優先的に作っている所ですが、避難のための計画で、その先の生活支援にどう繋げていくかは今後考えなくてはいけないところだと思います。救急医療情報キットや、個別避難計画も在宅避難している方がどういう状況にあるか、どんな支援が必要かということも書く欄がございますので、こう言ったものも共有のツールとして使って頂く事もできると思いますので、こちらの方にも今後ともご協力いただければと思っています。

鶴川圏域地域ケア推進会議では、高齢者の皆様が安心して住み慣れた地域で生活ができるように、地域課題の抽出と解決に向けて、地域の方や事業所の方と連携していきたいと考えております。今後も会議へのご参加をよろしくお願いいたします。

会議の様子をyoutube限定公開しています。視聴ご希望の方は支援センターまでお問い合わせください。

鶴川第1 高齢者支援センター TEL 042-736-6927
鶴川第2 高齢者支援センター TEL 042-737-7292